令和7年3月　教育委員提案①

学校施設の樹木管理等について

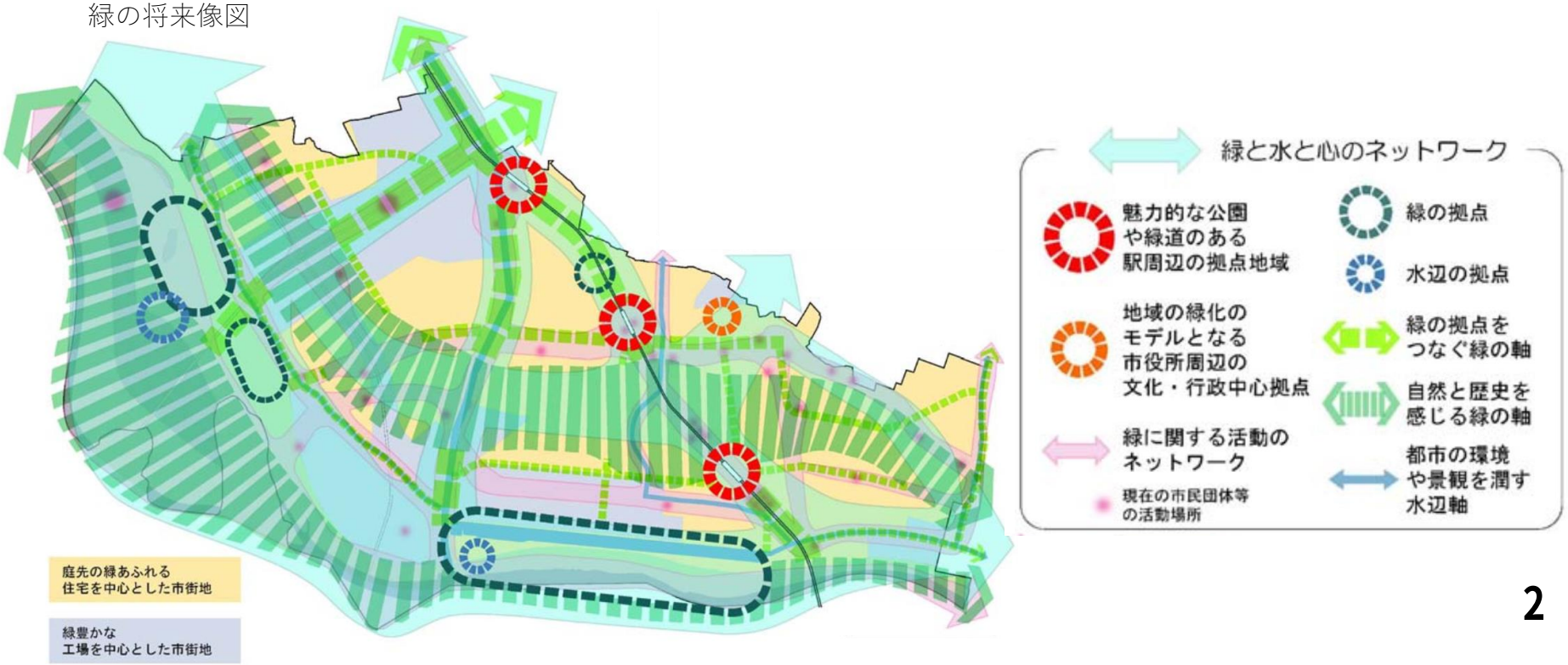
戸田市教育委員会
教　育　総　務　課

戸田市緑の基本計画（改訂版）

市では、緑地のもつ様々な機能を踏まえつつ、緑の確保や整備、民間の参加や協力等の促進を計画的かつ効果的に推進させるため、平成２４年３月に「戸田市緑の基本計画（改定版）」を策定しています。

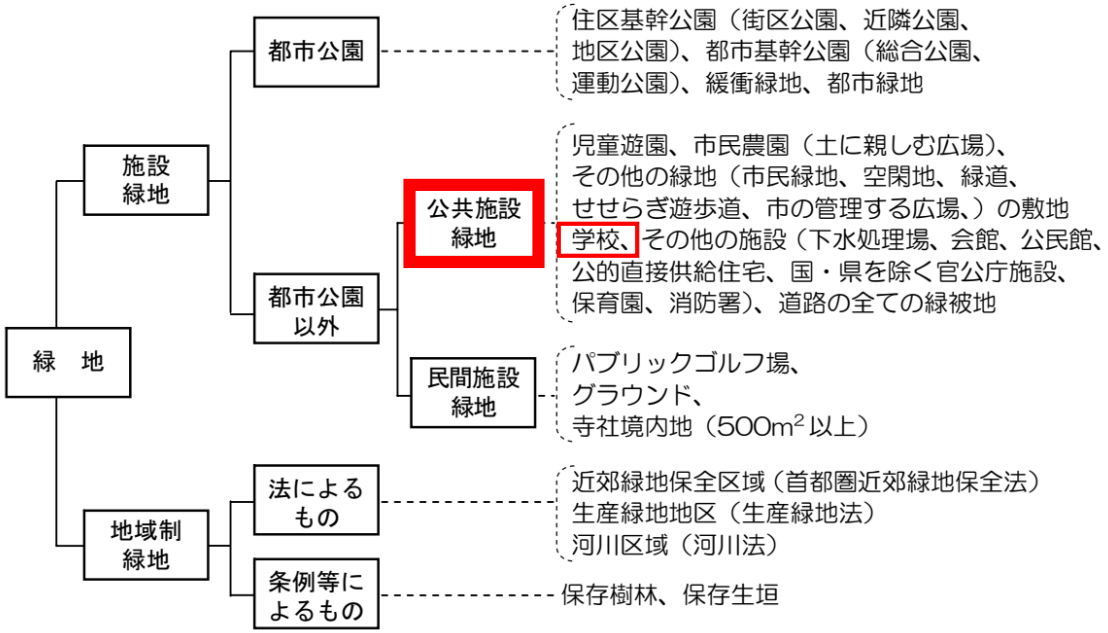
計画期間	平成２４年度から令和１２年度（１９年間）
基本理念	**緑と水と心のネットワーク都市・戸田**
計画の６つの重点項目	人と自然が共に生きるまち（自然共生都市） 水と緑が快適な都市環境を支えるまち（水緑環境都市） 緑の中で安心して暮らせるまち（防災都市） 四季の彩りのある美しいまち（景観都市） 多様なレクリエーションの場を備えたまち（公園都市） 緑をとおして市民がふれ合えるまち（市民参加都市）

緑の将来像図



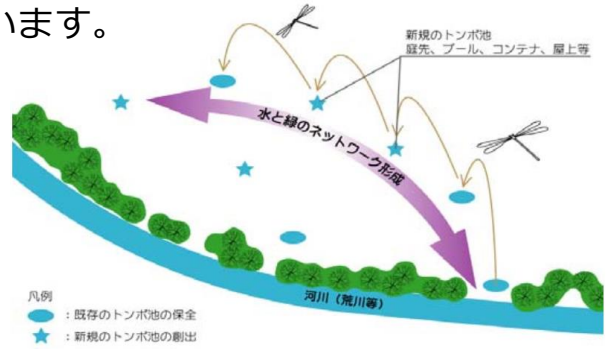
緑の基本計画における学校施設の位置づけ

本計画で扱う「緑」とは、下図を対象としています。公共施設の緑地だけでなく、民間施設の緑地も含まれており、官民が一体となり、緑地を確保していく計画となっています。



このなかで、学校施設の緑化は「学校の緑化の推進」として、本計画の重点施策に位置付けられており、**水と緑のネットワーク形成**の役割を担っています。

水と緑のネットワークとは、生き物が生息・生育・移動・繁殖する上で重要な自然を保全し、分断された自然をネットワークでつなぐことで、自然の多目的機能を回復させるものです。荒川河川敷の豊かな自然環境から市街地内により多くの生き物を引き込むことを目指しています。



図．ツールによる水と緑のネットワーク形成イメージ（例：トンボたちの池）

学校施設の緑化は、戸田市の緑化の推進を担っている

学校施設における樹木

市内の小中学校では、一定規模の緑を確保しており、高木から低木、芝生などの地被類を敷地内に設置しています。また、樹木は常緑樹や落葉樹の他、果樹や記念樹などがあり、数多くの樹種を管理しています。



低木
自然に育った状態で高さが
約1.5m以下となる樹木



中木
自然に育った状態で高さが
約1.5m～4mに育つ樹木



高木
約4m～5mを超える樹木

樹木について、日頃から様々な管理課題が発生するとことから、年間を通しての計画的な樹木管理が必要となります。



雑草等による景観不良



樹木の枯死



生垣の成長による道路の狭隘

樹木の維持管理

学校樹木の維持管理は、造園業者による年１回の樹木剪定を基本とした業務委託と、校務員による日常的な軽作業を行っています。
また、これらの委託で対応が難しい老朽化した危険樹木の伐採などは、別途、作業により適宜対応をしています。

対象	項目	回数	備考
造園業者 (樹木管理業務委託)	樹木剪定	１樹木 年１回	剪定時期を樹種の適期に合わせ年3回程度に分けて実施 （夏：常緑樹　冬：落葉樹）
	簡易点検	年１回 （剪定時）	剪定時に樹種の状況（不自然な揺らぎや樹木の傾斜等）を確認
	消毒	年１回程度	主に毛虫の発生防止のため、５月から６月に実施
学校校務員 (校務員業務委託)	日常作業	その都度	低木、生垣などの簡易剪定 除草、草刈り 落ち葉清掃

（参考）市で管理している学校施設以外の樹木剪定状況
・公園の樹木　：年１回の樹木剪定（夏：常緑樹　冬：落葉樹）
　落ち葉清掃などを町会により実施
　その他、状況に応じて個別対応
・道路の街路樹：年１回の樹木剪定
　その他、状況に応じて個別対応

学校の樹木は、委託業務により剪定や点検などにより、適宜、健康状態を確認しながら維持管理を行っています。

樹木医を活用した樹木診断

樹木医の活用例

樹木医とは、樹木の生態を理解し、診断及び治療をとおして落枝、倒木などによる人的、物損被害の抑制や樹木の保護・育成に関する知識の普及・指導などを行う専門家です。

学校からの相談
樹高が高く、強風時に幹がなびいている。倒木した場合に敷地内だけに限らず、敷地外への被害も心配される。由来のある樹木ではないので、この際、伐採でもよいのでは。

↓

樹木医の活用
樹木を容易に伐採できないため、健康状態を確認



樹木診断の結果と対応

樹　木　診　断　カ　ル　テ

No. 1　　戸田教育委員会事務局教育総務課

公園名	新曽北小学校	樹木医	柳原 誠司	診断日	令和7 年 1 月 28 日	天候	晴
樹種名	メタセコイア	形状寸法	H= 34.0 m C= 207 cm W= 6.0 m (根元周= 296 cm)				
樹木番号	①	植栽形態	□ 単独樹 □ 植栽帯 ■ 緑地内 □ 他	支柱	□ 良好 ■ なし □ 破損		

外観診断	活力	樹勢(枝の伸長量、梢端の枯損、枝の枯損、葉の密度、葉の大きさ、葉色等)	■ 1 □ 2 □ 3 □ 4 □ 5		
		樹形(主幹・骨格となる大枝・枝などの枯損及び欠損、枝の密度と配置等)	■ 1 □ 2 □ 3 □ 4 □ 5		
			根元	幹	骨格となる大枝
	樹皮枯死・欠損・腐朽部(周囲長比率)		■ なし □ 1/3未満 □ 1/3以上	■ なし □ 1/3未満 □ 1/3以上	■ なし □ 1/3未満 □ 1/3以上
	芯に達した開口空洞(周囲長比率)		■ なし □ 1/3未満 □ 1/3以上	■ なし □ 1/3未満 □ 1/3以上	■ なし □ 1/3未満 □ 1/3以上
	芯に達していない開口空洞(周囲長比率)		■ なし □ 1/3未満 □ 1/3以上	■ なし □ 1/3未満 □ 1/3以上	■ なし □ 1/3未満 □ 1/3以上
	キノコ		■ なし □ あり 種名( )	■ なし □ あり 種名( )	■ なし □ あり 種名( )
	木槌打診(異常音)		■ なし □ あり	■ なし □ あり	■ なし □ あり
	分岐部・付根の異常		■ なし □ あり	■ なし □ あり	■ なし □ あり
	胴枝枯れ性などの病害		■ なし □ あり 病名( )	■ なし □ あり 病名( )	■ なし □ あり 病名( )
	虫穴・虫フン・ヤニ		■ なし □ あり 種名( )	■ なし □ あり 種名( )	■ なし □ あり 種名( )
	スタブカットの有無		■ なし □ あり	■ なし □ あり	□ なし ■ あり
	鋼棒貫入異常(貫入長 cm)		■ なし □ あり	建築限界超え	枯枝
	不自然な樹幹傾斜		■ なし □ あり	幹 ■ なし □ あり ( )	幹 ■ なし □ あり ( )
	巻き根の有無		□ なし ■ あり		
	幹を押したときの根元の揺らぎ		■ なし □ あり	枝 ■ なし □ あり ( )	枝 □ なし ■ あり (小枯枝)
	ルートカラー		■ 見える □ 見えない(cm)		
	診断理由		根元 巻き根(切除可)あり 幹 H/D比49.3 大枝 SC、枯枝(小)あり		

外観判定	活力	■ おおむね異常なし □ 今後観察が必要 □ 精密診断が必要 □ 撤去(植替え)が必要			
			根元	幹	骨格となる大枝
	おおむね異常なし		■	■	■
	今後観察が必要		□	□	□
	剪定を要する			■	■
	撤去(植替え)が必要		□	□	□
	精密診断が必要		□	□	□
	支柱	■ 処置不要 □ 撤去必要 □ 結束直し必要 □ 再設置が必要			
	判定理由	活力ほか根元、幹、大枝の各部において生育の異常はなかった。 樹高と幹胸高直径の比がH/D49.3となっており、強風時の幹折れが懸念される。(H/D＞50で幹破断の危険が高まる) 断幹、樹高下げを行い、枝も風荷重を軽減する剪定が必要と思われる。			
外観診断健全度判定		■ A:健全 □ B1:健全に近い □ B2:おおむね健全 □ B3:不健全に近い □ C:不健全			

精密診断判定	部位 (H= 空洞率: %)	部位 (H= 空洞率: %)
	□ 今後観察が必要	□ 撤去(植替え)が必要
	判定説明	

総合判定	健全度判定	■ A:健全 □ B1:健全に近い □ B2:おおむね健全 □ B3:不健全に近い □ C:不健全
	判定理由 総合所見	活力ほか根元、幹、大枝の各部において生育の異常はなかった。 樹高と幹胸高直径の比がH/D49.3となっており、強風時の幹折れが懸念される。(H/D＞50で幹破断の危険が高まる) 断幹、樹高下げを行い、枝も風荷重を軽減する剪定が必要と思われる。健全度判定はAとする。
	処置の緊急性	■ なし □ あり (□ 撤去・植替え) □ 枝の剪定 □ 支柱の設置・補修 □ その他( )
	処置の内容	□ 特に必要なし □ 要観察(短期) ■ 要観察(長期) ■ 枝の剪定 ■ 枯れ枝の除去 □ 支柱の設置・補修 □ 撤去・植替え □ 踏圧防止 □ 土壌改良 □ 施肥 ( ) □ 薬剤処理 ( ) ■ その他(断幹・樹高下げ)
処置結果		□ 観察を要する ( ) □ 処置( ) □ 伐採(植替え □ あり □ なし)

根元、幹、大枝の診断（樹皮の枯死や病害など）

判定

総合判定
樹木は健全である。
しかしながら
強風時の枝折れの懸念がある。

樹木医からの所見

樹木は残し、樹木の倒木等による被害がないよう、断幹、樹高下げを行い。風荷重を軽減する必要がある。

樹高を34mから15mに樹高下げを実施する。



今後の課題

近年では、管理をしている公共施設の樹木倒木が見られ、人身事故や物損事故が発生しています。

公共施設樹木の倒木事例

時期	令和5年3月	令和6年6月	令和6年6月
場所	兵庫県・公園	東京都・小学校	広島県・街路樹
原因	幹内部の腐食	根腐れ	根腐れと降雨
損害	中学生の怪我	電柱３本とケーブル等に損傷し停電	けが人等なし

その他、全国的に随所で倒木が発生しています。

倒木による事故を未然に防ぐために、定期的に実施している学校樹木管理委託の中で造園業者による樹木剪定と併せて実施する点検に加え、学校等からの通報により、外観だけでは健康状態に不安があるか不明な樹木については、樹木医診断により、詳細な点検を実施し、健康状態を適宜確認していきたいと考えています。

学校の安全を第一に緑の重要性も考慮し、適切に管理できるよう対応してまいります。